

○令和元年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書  
(令和元年6月7日閣議決定)(抄)

第2部 各分野の施策等に関する報告

第1章 地球環境の保全

第1節 地球温暖化対策

4 エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出削減対策

(3) 家庭部門の取組

国民一人一人に配慮した無理のない行動変容を促進し、低炭素社会にふさわしいライフスタイルの自発的な変革を創出することを目的として、ナッジ等の行動科学の知見に基づく新たな政策手法の検証を行いました。具体的には、家庭部門に加え運輸部門や業務部門、また、学校教育や医療・健康等の現場を対象に、電気、ガス、灯油、自動車燃料等の使用に伴うエネルギー消費やCO<sub>2</sub>排出実態に係るデータを収集、解析し、ナッジやブースト等の行動インサイトとAI/IoT(BI-Tech)を活用して一人一人にパーソナライズされたメッセージをフィードバックし、低炭素型の行動変容を促しました。また、2017年4月には産学官連携の日本版ナッジ・ユニット(BEST)を発足し、2019年3月までに計8回の連絡会議を開催し、年次報告書を取りまとめました。